

ちょうさほうこくしょあん
調査報告書案について賛成討論を行います。

令和4年6月、光本氏による政務活動費の不可解な入出金や有印私文
書の偽造・変造が発覚しました。これを受け、会派議員が過去の政務活
動費を調査した結果、光本氏による、さまざまな疑惑が明らかになりまし
た。

その後、尼崎市議会では、令和4年6月に政務活動費の制度を見直すた
めの特別委員会を設置し、令和4年8月には議会事務局によって告発が
行われ、令和5年5月には政治倫理審査会が設置されました。また、令和
4年6月、令和5年6月、そして令和5年11月には、議員辞職勧告が全会
一致で決議されました。

発覚から現在に至るまで、尼崎市民の皆様、市職員の皆様、議会事務局
の皆様、そしてこの場にいる議員の皆様には、多大なるご迷惑とご心配
をおかけしましたこと、また、疑惑の解明にあたり貴重な時間をいただい
たことについて、日本維新の会 尼崎市議団一同、心よりお詫び申し上
げます。誠に申し訳ございませんでした。

さらに、会派の会計処理に問題があったことから、光本氏による政務活
動費の不可解な入出金が長期間にわたって繰り返されていたことに、会
派として気づくことができず、未然に防ぐことができなかったことを深く反

省し、心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

光本氏は、一昨日の会見で「百条委員会の結果を受けての辞職ではない」と話していましたが、この報告書の中にある光本氏の証言と我々を含めた他の方との証言を照らし合わせると、いくつもの矛盾点があります。

光本議員は常に我々に「公平に公正に会派を運営したい」と語っていました。しかし、我々には内緒で、多額の政務活動費を動かしていた。

その行動のどこが「公平で公正」なのでしょう。

光本氏が偽造した領収書や請求書によって支出された政務活動費は、現在会派に残る日本維新の会の議員が、すべて洗い出し、市に返還しています。

ほんひやくじょういんかい
本百条委員会で、明らかになった事実として、

光本氏が我々に見せた 250 万円がはいっている WEB 通帳の取引履歴が、真っ赤なウソだったという事です。

私は何度も、「口座にあるなら今すぐ返せ」と言いましたが、光本氏は「議会事務局に謝らせないと」などと言^いい^いは^は張っていました。

議会事務局が謝る理由などありません！

我々に無断で引き出した 250 万円は、4 月 20 日から 6 月 2 日の間、どこにあったのか、それをきちんと証明するのが光本氏の責任です！！

光本氏を信じていたのは、私だけではない、他の会派議員や会派職員はもちろんのこと、議会事務局や光本氏のお願いで、見積書を作成した業者さんなどです。

光本氏は裁判で無罪となるように戦うようですが、我々は光本氏の話した言葉を覚えています。この報告書の証言もホントとウソが混じっているのだらうなと感じています。

多くの時間をかけ、証言を取り、調査を行ってくれた委員の民様、議会事務局の民様に感謝申し上げます。

この度^{たび}終了した百条委員会において、日本維新の会尼崎市議団は証人として出席し、また独自に調査を行い、報告書や資料を提出するなど、できる限りの協力をさせていただきました。これにより、会派の考えも反映されていると考えております。そのため、本^{ほん}調査報告書^{ちようさほうこくしよ}の内容については、会派として賛成させていただきます。

本日、光本氏が議員辞職をするということですが、これまでに 3 回の議員^{ぎいん}辞職^{じしょく}勧告^{かんこく}決議^{けつぎ}を受けながらも無視し続け、百条委員会においても説明責任を果たさなかったことを考えると、今回の辞職は報告書が提出されたタイミングで行われることから、報告書の内容を全面的に認めたということに他なりません。以上で賛成討論を終わります。

最後に光本氏に一言申します。将来あなたがこの場所に戻るようなことがあったとしても、市民を裏切ったこと、議会の名誉を傷つけた事、そしてわが会派の議員を騙し続けたことは、一生消えることはないし、私たちはあなたを一生認めることはないでしょう。